

行政調査報告書

沼田市議会議長様

平成31年3月29日

会派外議員

氏名：井上 弘

政務活動費を使用した行政調査について、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

1	期日	平成30年11月19日（月）～21日（水）
2	調査地	11月19日：愛知県尾張旭市 20日：愛知県知多市、半田市 21日：愛知県小牧市
3	調査事項	11月19日：防災対策について 20日：議会における取り組みについて 「マイレポはんだ」について 21日：地域協議会創設事業について
4	参加議員	井上議員
5	調査概要	①調査目的、②調査内容等を記入（別紙で調査資料及び写真等を添付）

11月19日（愛知県尾張旭市）

調査事項：防災対策について

11月20日（愛知県知多市、半田市）

調査事項：議会における取り組みについて
「マイレポはんだ」について

11月21日（愛知県小牧市）

調査事項：地域協議会創設事業について

6	所 感	調査後の考察（感想、政策提言、本市にどのように活かせるかなど）を記入
11月19日（愛知県尾張旭市）防災対策について		
<p>所 感：南海トラフ地震など、地震被害が多く想定される立地のため、大地震を想定した防災を中心としていた。他の防災よりも重点的に力を入れていたようである。被害を想定することにより、防災にも優先順位付けの必要性を感じた。</p> <p>総合防災訓練を実施しており、市民参加型への移行が図られていた。見せる訓練ではなく実践する訓練の重要性を認識した。</p> <p>防災手帳が3種類作成されており、大人向け、小学校高学年向け、小学校低学年向けがあり、同じ内容でも対象年齢に配慮したわかりやすいものとなっていた。特に子供向けの防災手帳は小さいうちから防災意識を高めるために有効だと感じた。</p>		
11月20日（愛知県知多市）議会における取り組みについて		
<p>所 感：本会議の映像配信は、年平均9,000人程度の視聴があり、広報に一定の効果があるようであり、費用もかかるが、活用することで議会活動を知ってもらうきっかけになり得る。興味を持ってもらった後の取り組み次第では、傍聴者の増加など議会へ関わってもらう機会の増加に繋がるのではないか。</p> <p>防災基本条例の作成について、委員会の事務調査での「防災総点検」、市長への提言書の提出、委員会での基本条例作成の検討、特別委員会をたちあげての条文の検討と、議会が非常に積極的に条例作成に向けて活動していた。条例制定は、議会としての重要な役割の一つであり、課題を抽出した上で条例制定について、見習うべきだと感じた。沼田市でも積極的に取り組んでいきたい。</p>		
11月20日（愛知県半田市）「マイレボはんだ」について		
<p>所 感：スマートフォンの写真機能を活用した通報アプリの有効性を強く感じた。</p> <p>市民から見ると、市内の様々な問題の連絡先はわかりづらく、自分と関わりの薄い問題については連絡をしようという意欲をなかなか持てない。また、時間の制約や、場所を伝えることが難しいなどの、通報に関してのハードルを大幅に下げることが可能である。行政としても、より多くの人の目で通報が行われことで、より多くの課題把握ができるようになる。</p> <p>通報方法をこれだけにするのではなく、連絡手段を一つ増やすことで、今までよりも多くの市民が地域貢献できるようになると考えられる。今まで行政に関わってこなかった市民層が関わってくることで、行政への市民参加の促進にも繋がると考えられる。行政側の対応が一目でわかるため、行政の見える化にも繋がり、信頼感向上にも繋がるのでは。</p> <p>災害時の活用も考えられており、ただの通報ツールとしてだけでなく、様々な運用の可能性がある。</p> <p>費用については、半田市では月額3万円程度であり、導入に向けて強く促していきたい。</p>		
11月21日（愛知県小牧市）地域協議会創設事業について		
<p>所 感：小学校区を単位とした「地域協議会」をつくり、地域住民が主体的に課題に向き合える地域づくりを進めていた。</p>		

沼田市では、行政区を基本単位としながら、P T A、体育協会、地域協議体など年代や活動内容などの違う様々な組織があり、それぞれが別々に活動を行っている。地域区分もそれぞれの組織によって違い、一つの地域としてのまとまりがとりづらい状況にある。また、地域区分が違うため、役員構成も同じにはできず、住民がそれぞれの組織で役員を兼務する必要があるなどの問題もある。

これらを「地域協議会」というなるべく大きな組織でまとめ、その中に子育て部会、福祉部会、体育部会などといった組織をおくようすれば、役員の重複も防げ、地域としてのまとまり、絆も強くなっていくと感じた。沼田市でも組織の区割りの見直しは急務であると感じる。